

## 令和2年度 南越前町みらい創造活動推進事業 Q & A

Q1 南越前町はどのような町ですか。

活動を検討する際、参考となる資料などを教えてください。

A 福井県南越前町は、南条町、今庄町、河野村の3町村が合併し、平成17年1月に誕生しました。

福井県のほぼ中央に位置する、人口約1万人のまちです。東は岐阜県、南は滋賀県と接しています。町の中央には日野川が流れ、上流は豊かな森林に恵まれ、下流は田園地帯が広がっています。西は日本海に面し、越前加賀海岸国定公園に指定された海岸が続いています。初夏には艶やかで優しげな花はす、冬には可憐な越前水仙が咲き、「海・山・里」の美しいまちです。

また、古くから交通・交易の要衝として人の往来を支えてきた歴史があり、江戸時代に宿場町として栄えた「今庄宿」や、旧北陸線のトンネルを中心とした「鉄道遺産群」、北前船寄港地として栄えた歴史文化が残る「河野北前船主通り」など、歴史文化も魅力です。

### 【参考 URL】

- ・ 第2次南越前町総合計画（後期基本計画）  
<https://www.town.minamiechizen.lg.jp/tyousei/701/p003198.html>
- ・ 南越前町人口ビジョン及び南越前町まち・ひと・しごと創生総合戦略  
<https://www.town.minamiechizen.lg.jp/tyousei/709/p002125.html>
- ・ 広報南えちぜん  
<http://www.town.minamiechizen.lg.jp/kouhou/index.html>
- ・ 南越前町地域おこし協力隊  
<https://www.town.minamiechizen.lg.jp/tyousei/709/p001409.html>
- ・ 南越前観光情報サイト  
<http://www.minamiechizen.com/>
- ・ 南越前町移住定住支援サイト「南えちぜん暮らし」  
<https://www.minamiechizen-iju.jp/>

Q2 南越前町のことをよく知りません。ゆかりもなく、南越前町に行くことも難しい状況だと考えています。どのように接点を持てばよいのでしょうか。

A まずは、オンライン説明会や個別相談会に参加してみましょう。

自分の得意なことや関心のあることを整理し、社会、地方、地域などの視点を加え、チャレンジできることはないか、価値がある活動は何か、想定してみてもいいのでしょうか。その上で、どのような人と接点を持ちたいか、どのような協力を得ることが必要

かをできる範囲で精査してください。その後、様々なツールを使って南越前町での協力者を探してみることも考えられます。協力しますので、ご相談ください。

Q3 この事業は、「地域課題を解決するための取組支援」や「政策プランコンテスト」のような事業でしょうか。

A そのような事業とは異なります。

実施要項「1 目的」(P1)のとおり、本事業は、学生の皆さんの「学びの継続」と、時代に即した「地域での挑戦」を広く支援するものです。

新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、学生の皆さんが地域をフィールドに学び、挑戦する機会が減少していること、地域でも新たな課題や変化に対応していくことが必要であることを捉え、今できる地域での挑戦を応援することで、活力ある地域に繋げていきたいと考えています。

南越前町にゆかりのある方はもちろん、これまで関わりのなかった方でも、本事業をきっかけに、地域を知り、地域を活かしていただきたいと考えています。

自分に合う形で、価値がある、楽しむ場として、地域の可能性を探るものです。幅広い活動を応援する趣旨ですので、ぜひこの機会を活かしてください。

Q4 「テーマ部門」はどのように選択したらよいでしょうか。具体的なイメージが持てないので、テーマ設定の背景を含め、想定する内容等を教えてください。

A テーマ部門の3テーマは、特に町内外に発信していきたいと考えているものです。以下はあくまでもイメージですので、自由に検討してください。

・「①観光・食・特産品 PR 企画」

南越前町民や出身者など、町にゆかりのある方のほか、町に訪問したことがある方、観光・食・特産品に関心のある方の参加を想定しています。魅力を感じてもらえるようなPRを行ったり、特産品を使った料理を考案したり、SNSや動画での発信に挑戦するなど、机上だけでなく、具体的な行動を伴う活動に挑戦することが考えられます。

・「②移住促進（暮らしの魅力発信）企画」

南越前町民や出身者、親族や知人が町に居住している方など、町にゆかりのある方の参加を想定しています。自身の体験に基づき、町外での暮らしと町の暮らしの違いを記事にしてPRするなど、具体的な行動を伴う活動に挑戦することが考えられます。

・「③南越前町を『楽しむ』企画」

昨年度町が実施したアンケート調査によると、町に居住する若い世代（16歳～39歳）は、今後さらに地域への関わりが減少する可能性があります。若い世代の方が、挑戦する場、楽しむ場を提供とするなど、地域に関わる価値を感じるが必要ではないかと考えます。そのきっかけとして、気軽に南越前町で「若い世代が地域を楽しむ」ことに繋がる企画が、自由な発想でスタートすることを期待します。

Q5 フィールドワークのような調査研究ではなく、ロゴデザイン、楽曲・絵画・動画の作成などの創作活動でも「まちみらいチャレンジ」として挑戦できますか。

A 実施要項記載の要件を満たしていれば、参加申込みが可能です。  
自由な発想で検討してください。

Q6 挑戦したいことがあります、南越前町の活性化に繋がるかどうか分かりません。  
このような活動も対象になりますか。

A 活動への意欲があり、南越前町をフィールドにするものであれば、少しの工夫で南越前町の活性化に繋がる可能性があります。お気軽にご相談ください。

Q7 卒業論文等の研究のフィールドにしたいと考えています。  
複数ある研究対象の一つという位置づけですが、対象になりますか。

A 卒業論文等の研究のフィールドとしての活用も可能です。  
「まちみらいチャレンジ」は、南越前町をフィールドとした「挑戦」です。実施要項記載の要件を満たせば、どのような方法でも構いません。「小さな一歩」となる活動も応援します。  
活動終了後には、活動報告書の提出と活動報告会での成果発表が必須です。また、活動の様子や活動報告書等の内容は、町のホームページ等にも掲載しますので、この点を踏まえ、広く一般に報告できるような内容としてください。南越前町の町民の方や関わりがある方に気付きを与えたり、地域の面白さ・楽しさが伝わるような活動を期待します。

Q8 既に活動しているものを対象にすることはできますか。

A 活動が完全に終了しているものは対象外ですが、参加決定通知後の令和2年9月から令和3年2月までに具体的に取り組むものは対象となります。  
既に活動しているものについては、まちみらいチャレンジへの参加により、付加価値をつけるなど、工夫をした活動となることを期待します。

Q9 「南越前町での活動状況及び成果の周知広報等の情報発信を積極的に行う活動であること」とは、具体的にどのようなことですか。

A 活動状況及び活動成果については、町のホームページ等により、随時進捗状況等を発信する予定です。この情報発信に協力いただくほか、その他の情報発信方法を検討してください。

Q10 「活動報告書の提出」と「活動報告会への参加」は必須ですか。

A 「活動報告書の提出」と「活動報告会への参加」は必須です。活動報告書が期限内に提出されない場合は、参加賞を返還していただきますのでご注意ください。

活動報告会への参加が困難な場合には、成果発表に関する動画を提出していただくことで、参加扱いとするなど対応します。日程などの実施方法については、別途通知します。

Q11 新型コロナウイルス感染症の拡大状況等により、想定していた活動が実施できない場合はどうしたらよいでしょうか。

A 審査基準記載のとおり、活動計画時において、新型コロナウイルス感染症予防の視点を持ち、予防策・対応策等を考えた計画であることが必要です。やむを得ない理由がある場合には、早めにご相談ください。